

【選挙後のご報告】

おかげさまをもちまして、4月の選挙におきまして五期目の当選を果たすことができました。皆様の期待に応えられるよう、しっかり頑張っております。

唐突ですが、用語の解説です。政党と会派の違いをご理解ください。

政党・・・党の理念を掲げ、社会の中で政治活動する団体

党には衆参の国会議員や都道府県会議員、市町村会議員が所属します。

会派・・・議会の中で政策立案をする団体

地方自治体の議会（または国会）に当選した議員が、選挙後に結成します。

政党と会派は別物です。同じ政党でも議会では二つの会派に分かれたり、政党（政治活動）が異なっても議会では同じ会派を組むことがあります。政党ではない無所属の目線から見た、選挙後の会派結成に向けた動きをご説明します。豊中市議会では3人以上の議員が会派を結成することができます。

2007年以前は、無所属議員は政党の草刈り場となっており、自民会派に入るか、民主会派に入るか、いずれかの選択しかありませんでした。私が初当選した2007年以降、無所属としての会派を立ち上げ、市議会としては30年ぶりの出来事でした。爾来16年間、無所属会派は所属議員や構成人数は増減しながらも、豊中市議会の一角を担ってきました。

4月24日

当選証書授与式後、前期において無所属・議会改革（神原議員、北之坊議員、木村議員、中川議員、松岡）という会派を結成していた無所属5人の議員が集まりました。他の4人とは思想信条の違いが大きく、政治活動が異なる木村議員から、今期は会派を組まないとの態度表明がありました。思想信条や政治活動は別として、議会を改革することを目的に無所属会派で活動できたことは、議員報酬削減、定数削減はもちろん、議会改革に一定の成果をあげてきました。

4月28日

あらためて5人が集まり、木村議員を慰留するも、従来どおり議会を改革するための無所属会派の結成は困難であることを確認しました。

5月2日

神原議員、北之坊議員、中川議員、松岡の4人が集まりました。4人が一枚岩になって行動するかどうか、協議しました。また、国民、立憲、れいわ、無所属の議員とも懇談し、政党の枠組みを超えた緩やかな会派結成について意見交換しました。

5月8日

自民党・国民民主党・無所属が政党の枠組みを超えて、政党混合の会派を結成することになりました。これを受けて4人が集まって対応を協議した結果、無所属だけでの会派結成では議会内で埋没しかねないことから、無所属一枚岩となって政党会派と連携していくことを確認しました。

【裏面へ続く】

【この時点での議会構成】

大阪維新の会	9人		
公明	9人		
政党混合会派	5人（自民3・国民1・無所属1）	②	③
無所属	4人	①	
立憲	1人		
共産	4人		
れいわ	1人		
無所属	1人（木村氏）		

議会で一強を生まずに緊張感のある議会にする観点から、無所属から政党混合会派に対して連携したい申し出をしました。また、立憲、維新からは無所属に対して連携したい申し出がありました。現実的な可能性として①立憲と連携して5人、②新しい会派と連携して9人、③維新と連携して13人という3通りを検討することになりました。

5月9日

4人の慎重かつ厳正な議論の結果、市議会に大きな変化を生む4年間にしようということになり、②か③を〆切時間ギリギリまで審議しました。②は先方から協議終了が通知され、③は先方が最後まで真摯に向き合ってくださいました。結果として、無所属4人は大阪維新の会と連携することになりました。両者の一致点は「議員定数の削減」と「議員報酬の削減」です。

こうした経過から、無所属と政党が連携し、豊中市議会においては定数34の1/3を超える巨大会派「大阪維新の会・無所属議員団」が誕生しました。冒頭にお示したように、政党と会派は異なります。会派として連携するからと言って、政党に合流、加担するわけではありません。

5月26日

今年度の役職として、監査委員、総務常任委員長を拝命しました。（広報とよなか7月号の別冊市議会だよりに掲載されたのはこの時点のものです）

6月16日

同月9日における総務常任委員会の運営にあたり、私の言動が問題視されたことをうけて委員長を辞任、紛糾した議会を正常化するため、会派を離団して監査委員を辞職しました。

現在に至る

以上の経過を「選挙後のご報告」として街頭活動などを通じてさせていただいております。叱咤激励、罵詈雑言、様々なお声をいただきました。反省すべきところは反省し、自己研さんに努めてまいります。私は無所属として政治活動することになりました。これまでどおり市民の側に軸足を置き、マナー化せず、緊張感のある政治を実現してまいります。市民の一番近くにいる政治家として、これまで以上に邁進していくつもりですので、ご指導ご鞭撻たまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

松岡信道